

## 阿寒国立公園における

# 阿寒生態系維持回復事業計画及びオンネトー湯の滝生態系維持回復事業計画の策定に関する意見の募集（パブリックコメント）の実施結果公表について

### 1．意見募集方法の概要

#### （1）意見募集の周知方法

環境省ホームページにて掲載、記者発表（プレスリリース）、資料の配付

#### （2）意見提出期間

平成24年10月22日（月）～11月20日（火）までの30日間

#### （3）意見提出方法

郵送、ファックス、電子メール

#### （4）意見提出先

環境省 自然環境局 国立公園課

北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所 国立公園・保全整備課

### 2．意見募集の結果

#### 【阿寒生態系維持回復事業計画】

意見の提出数 0 通

#### 【オンネトー湯の滝生態系維持回復事業計画】

意見の提出数 電子メールによるもの 1 通

整理した意見数 1 件

### 3．意見の概要と見解について

別紙のとおり。

### 4．今後の予定

平成24年12月 中央環境審議会に諮問

平成24年12月 中央環境審議会より答申

平成25年 2 月 中央環境審議会の答申を踏まえ、官報告示

**阿寒国立公園におけるオンネトー湯の滝生態系維持回復事業計画に関する  
パブリックコメント実施結果**

番号	ご意見の概要	件数	対応方針
1	<p>採捕作業ではどうしても取りこぼしがあり、根絶は非常に困難と予想される。</p> <p>池には滝湯のほか、複数の沢湯の流入やしみ出しの存在が想定され、滝湯を下流へ迂回させた場合でも、池全体を外来魚が死滅する水温まで低下させることは困難と予想され、湯口など一部には外来魚が生息可能エリアが残存することが予想される。</p> <p>そこで「生存個体の採捕や死滅」とは別の観点、つまり、「繁殖させないこと」に着眼し、生源を絶つことで、行く行くは完全駆除を図る考え方を以下に記載する。</p> <p>「繁殖させないこと」に着眼した場合、種により繁殖生態は異なることから、ここではまずより影響度の高い(藻類の捕食圧の高い)ナイルティラピアに焦点をあてる。なお、グッピーについては、ナイルティラピアの完全駆除後、グッピーに特化した策を講じるといった段階的な措置で対応する。</p> <p>ナイルティラピアの繁殖生態としては、水温は22度以上、緩やかな流れ、砂泥に産卵床を形成、卵を口で拾い口内で保育(卵は落ちたままですぐに死ぬ)、といった点があげられる。そこで繁殖可能な池底(水温22度以上の砂泥箇所)を、「繁殖が阻害されるような構造」とすることで、「繁殖させないこと」を目指す。「繁殖が阻害されるような構造」としては、産卵床が形成されない、産卵したとしても卵を口で拾えないといった構造にすることである。</p> <p>例としては、ナイルティラピア成魚が通り抜けない程度のマス目の角ザルを逆さに伏せて多数設置するといった策である。これにより「産卵床形成阻害」および「卵の拾い上げ阻害」が期待でき、繁殖は阻害されるものと考えられる。また、藻類生育箇所では「藻類の食害防止」も期待できる。</p> <p>課題としては、落ち葉や流れ込む藻類等による目詰まりがある。水通しを良くするためマス目は出来るだけ大きめがよいが、産卵阻害効果と維持管理の両面を考慮し、何らかの検討が必要となる。</p> <p>また、現在計画されている「池の冷水化」と例年実施されている「水抜き採捕作業」も、上記と平行して実施することで、より駆除効果が上がるものと考えられる。</p>	1	事業の実施手法の検討にあたり参考にさせていただきます。